

西小っ子だより

【校訓】 直く 正しく 美しく

たつの市立揖西西小学校
〒679-4023
たつの市揖西町住吉142番地
Tel 0791-66-0021
Fax 0791-66-2613
発行責任者 校長 新家 洋一

運動会 ~ゴールをめざせ、みんながつなぐきずなのバトン~

5月25日(土)、「ゴールをめざせ、みんながつなぐきずなのバトン」のスローガンのもと、今年度の運動会が実施されました。昨年度は実施を見送った「綱引き」を、久しぶりに行いました。天候にも恵まれ、子どもたちも思いっきり演技することができました。観覧者のみなさまにも1年生と一緒に玉入れを楽しんでいただくなど、素晴らしい運動会ができましたこと心より感謝申し上げます。



①国旗・校旗入場、②児童宣誓、③応援合戦、④リレー(6年生)、⑤⑥⑦玉入れ(順に1・2・3年「ねらいをさだめて」、みなさんと1年生(白)、同(紅))、⑧綱引き(4・5・6年「力を合わせて」)、⑨⑩⑪表現(順に、1・2年「ケセラセラ〜みんながいればだいじょうぶ〜」、3・4年「西小ソーラン2024」、5・6年「No Rain, No Rainbow」)、⑫児童代表あいさつ

森の木のつばやき

Vol.20

~健康の森から、いつも西小っ子を見つめている森の木のつばやきです~

素晴らしい運動会だったよ。スローガンどおり、みんながつながって絆が深まったね。西小っ子だけじゃなく、たくさんの方々が玉入れに参加してくださったし、温かい拍手がいっぱい起こったし、本当によい運動会だった。

もちろん、西小っ子の演技は最高だったよ。玉入れも綱引きも、見ている方まで力が入る大熱戦、表現運動は、それぞれの学年に応じて、リズムに乗って楽しく踊ったり、力強さや美しさを際立たせたり、工夫してうまく表現したり、とても上手だった。感動したよ。それから、演技だけでなく、昨年度に続いて、「笑顔の万国旗」とカラジオ体操後の「応援合戦」とか、マスコット「きなこ君」と応援旗の掲示とか、みんなのアイデアが光った運動会だったよ。

あと1ヶ月もしたら夏休み。1学期をしっかりと締めくくってもらいたいな。勉強や生活を見つめ直して、もうちょっとでできそうなことや達成できそうな目標とかをがんばってみよう。夏休み前、よい1ヶ月を過ごそうね。(つづ)



職員室から



~揖西西小学校の教育方針等をお伝えします~

★教職員の異動について

◆着任： (学校より)

6月6日付で、4月当初から未配置のままであった教員1名が、ようやく配属されました。は、昨年度も半年ほどでしたが、本校に勤務していたのベテラン教員です。全学年対象に、複数指導担当の立場で児童の指導にあたります。

★「着衣泳」について

「水泳・水遊び」の授業の最終日に、どの学年も「着衣泳」を実施します。毎年申し上げておりますが、毎夏、日本のどこかで、子どもが犠牲となる水難事故が起きています。そこで万一来に備え、服を着たまま、靴を履いたまま入水し、命を守る行動を学習をすることにしています。とても大事な学習です。準備物等は、学年通信等で改めて連絡します。

★個別懇談会 []について

個別懇談会は、お子さまの成長を家庭(保護者)と学校(担任)で確かめ合うよい機会です。家庭(学校)では見せない学校(家庭)での姿、頑張っていることや困っていること等を話し合い、伸ばしたい点や課題等を共有し、連携していきたいと存じます。

(裏面もご覧ください)



《5月29日(水) 4年「手話体験」》

4年生では、福祉学習をカリキュラムに位置付け、様々な体験をとおして、共生社会の実現に向けて学びを深めていきます。その一番目として、手話サークル「あゆ」のみなさまに来校いただき、手話体験をしました。これから続く福祉体験をきっかけに、この社会が実に多様な人々の集合体であることや、障害の有無に関係なく誰もが住みよい社会にしていくために多くの人が尽力されていることに気づき、自分に何ができるか考えてほしいと思います。



《5月30日(木) 学び舎学級「開級式」》

学び舎学級は、構教育集会所を学びの場として、児童の心豊かな自己実現を支援することを主要な目的とし、年間25回の実施を予定しています。本年度は、35名の学級生が、自然の中での体験や地域の方を講師にした体験学習、本校教員と集会所職員が指導する教科学習や人権学習、国際交流やなかよしコンサート等の交流会、学習発表会等で学習を進めます。



《5月31日(金)「避難訓練」》

今年度初の避難訓練は、地震発生を想定して実施しました。あいにくの空模様でしたが、地震は天候に関係なく発生します。子どもたちは、それでも「おはしもち(押さない・走らない・喋らない・戻らない・近づかない)」の合言葉を守って、たいへん素晴らしい態度で、避難することができました。

集合後、災害発生時の初期対応について確 (右に続く)

認しました。今年度から、各教室に「こんなときどうする?」のマニュアルを掲示しています。地震、火災等災害の種類によって対応が異なりますが、平素から掲示を見ておくことや、いざというとき可能ならばそれを見ることで、命を守る行動がとれるよう備えています。



《6月3日(月) 4年「エコロ見学」》

揖龍クリーンセンター・エコロでは、ごみを溶融しスラグやメタルにしてリサイクルしています。また、発生する蒸気を利用して発電し、施設内で利用しているそうです。溶融炉は24時間稼働しており、私たちの快適な暮らしは、優れた技術とそこで働く人たちに支えられていることを学びました。



《表彰》 ~受賞者のみなさん、おめでとう(敬称略)~

★たつの市民体育大会陸上競技小学生の部

- 100m6年女子第4位:
- 100m5年女子第6位:
- 100m5年女子第7位:
- 800m5年女子第5位:
- 4×100mリレー6年女子第3位

★me-too CUP [SUP]

キッズレース優勝:

★播磨灘カップin新舞子 [SUP]

小学低学年第2位:

★福山ばら祭協賛近県柔道大会

小学3・4年軽量級の部第2位:

★相生ペーロン祭西播地区小・中学生競書展 [書道]

- 相生市長賞:
- 相生市教育委員会賞:
- 相生書道連盟賞:

今月の詩 — ぜひご家族と一緒に、お読みください

大自然の中では
原田 直友

山に登る人がいる
山を下る人がいる
追いこしていく人がいる
すれちがって
どちらからともなく声をかける

「こんにちは」
「こんにちは」

「おつかれさま」
「はい おつかれさま」

「おさきへー」
「お気をつけてー」

みんな知らない人なのに
今会って別れていく人なのに

ああ それはなぜ
それは山でのエチケットなのだろうか
人なつかしさからなのだろうか

いや いや
そうではあるまい

大自然の中は
人の気持ちは大きくゆったりして
人間らしいやさしさに返るからなのであろう

挨拶は、心のゆとりのバロメーターなのではないでしょうか。
よく学校でも、「しっかり挨拶をしよう。」と言いますが、「やれ。」と言われてするものでもないように思います。自然と挨拶できる心を子どもたちにどう育てやるか、昔からの教育の大きな課題の一つであり、それは本校にもあてはまります。
時には、自然の美しさに触れ、心をゆったりとして人間らしい優しさを取り戻すときがあってもいいのかもしれないね。